

北九州市ため池 ハザードマップ (門司区)

まさこういけ
真迫上池
まさこしたけ
真迫下池

このマップは、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、真迫上池、真迫下池が決壊し、貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さを表示しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

凡例

- 予定避難所**
災害の危険から一時的に逃れるための場所
なお、浸水する予定避難所は、使用できません。
- 到達時間**
- ため池**
- 土石流特別警戒区域**
- 急傾斜地特別警戒区域**
- 河川**
- 地すべり区域**
- 土石流警戒区域**
- 急傾斜地警戒区域**

浸水の深さ

- 3m以上の浸水**
2階以上が浸水する程度
- 0.5~3mまでの浸水**
1階の軒下まで浸水する程度
- 0.5m未満の浸水**
床上浸水
床下浸水

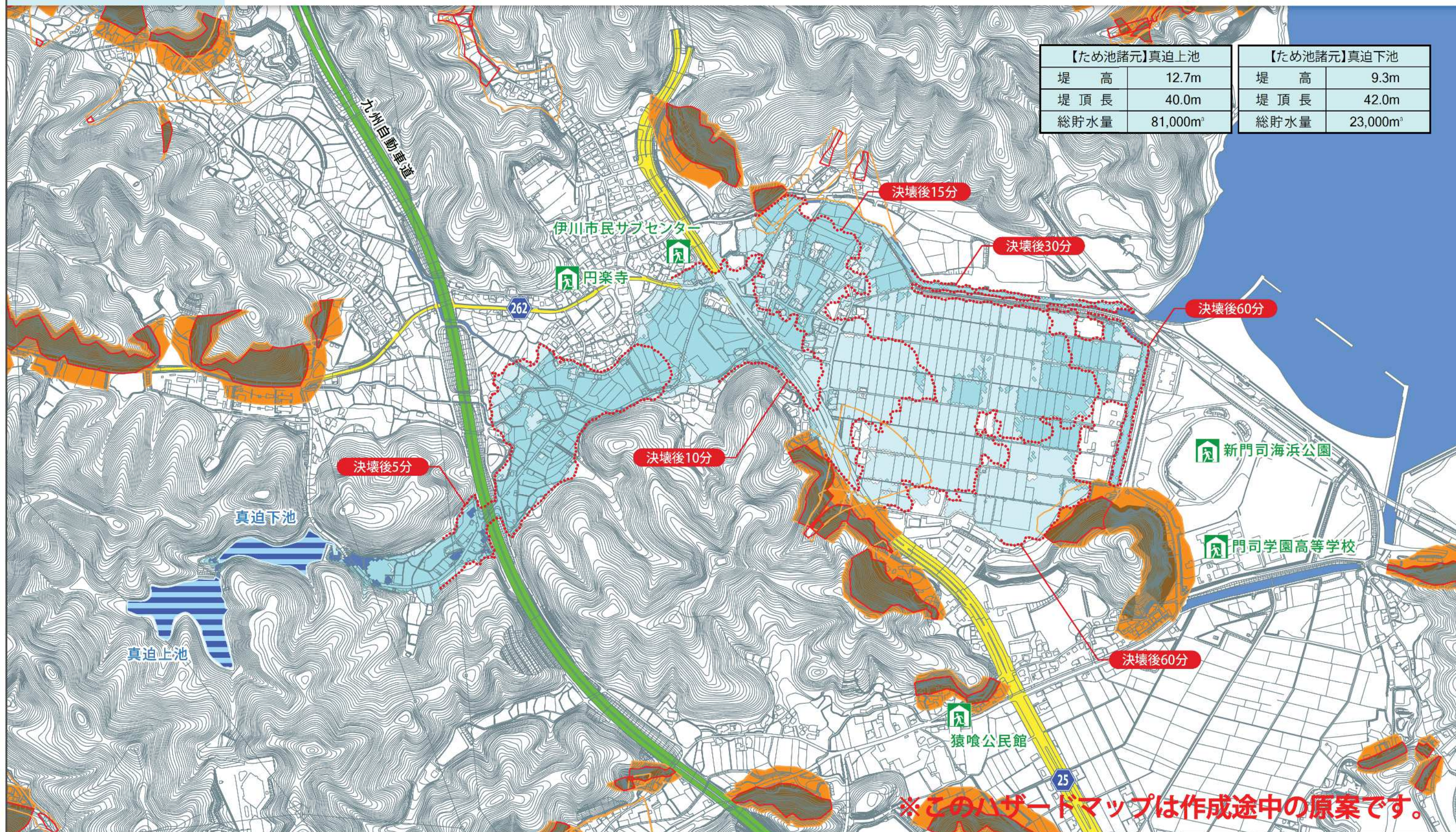


0 50 100 200 300 400 500 m

1:8,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)」
R 2JHs 1169

作成/令和3年3月 北九州市農林水産部農林課



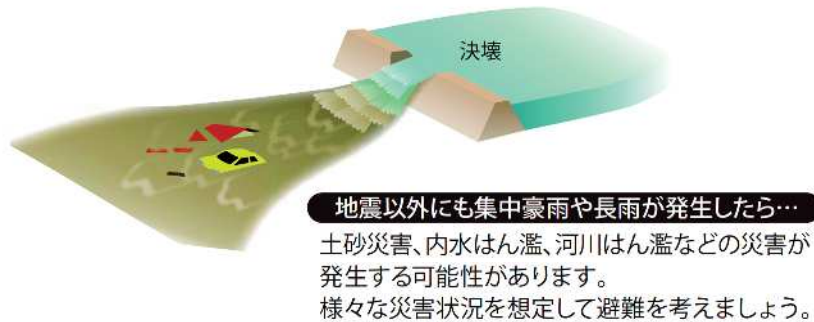
【ため池諸元】真迫上池	
堤 高	12.7m
堤 頂 長	40.0m
総貯水量	81,000m³

【ため池諸元】真迫下池	
堤 高	9.3m
堤 頂 長	42.0m
総貯水量	23,000m³

北九州市ため池ハザードマップ【門司区】

まさこういけ まさこしいけ
真迫上池、真迫下池

この「ため池ハザードマップ」は、晴天時の地震により、ため池が決壊した場合に貯水量が時々刻々と流出する状況を想定した浸水範囲や深さ、および避難に役立つ情報をとりまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合や決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



インターネットによる最新情報の入手先

北九州市役所 http://kitakyushu.bosai.info/input2/index.html ○防災情報 ○緊急情報など	福岡県防災情報ホームページ https://www.bousai.pref.fukuoka.jp ○緊急災害情報 ○被害情報 ○県内の雨量・水位など	気象庁(福岡管区気象台) https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/ ○天気予報 ○気象警報・注意報 ○降水ナウキャストなど
--	--	---

地震・豪雨によるため池決壊のメカニズム

もし、ため池が決壊したら…

- 大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

地震によるため池の被災メカニズム

クラック

- 堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。
- 堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。

沈下

- 堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。
- 多くは、軟らかい地盤で発生しています。

斜面崩壊

- 堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで、変形が生じる場合があります。

斜面すべり

- 地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。

崩壊

- 堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。
- 決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨によるため池の被災メカニズム

浸透破壊

- 堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。
- また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。

すべり破壊

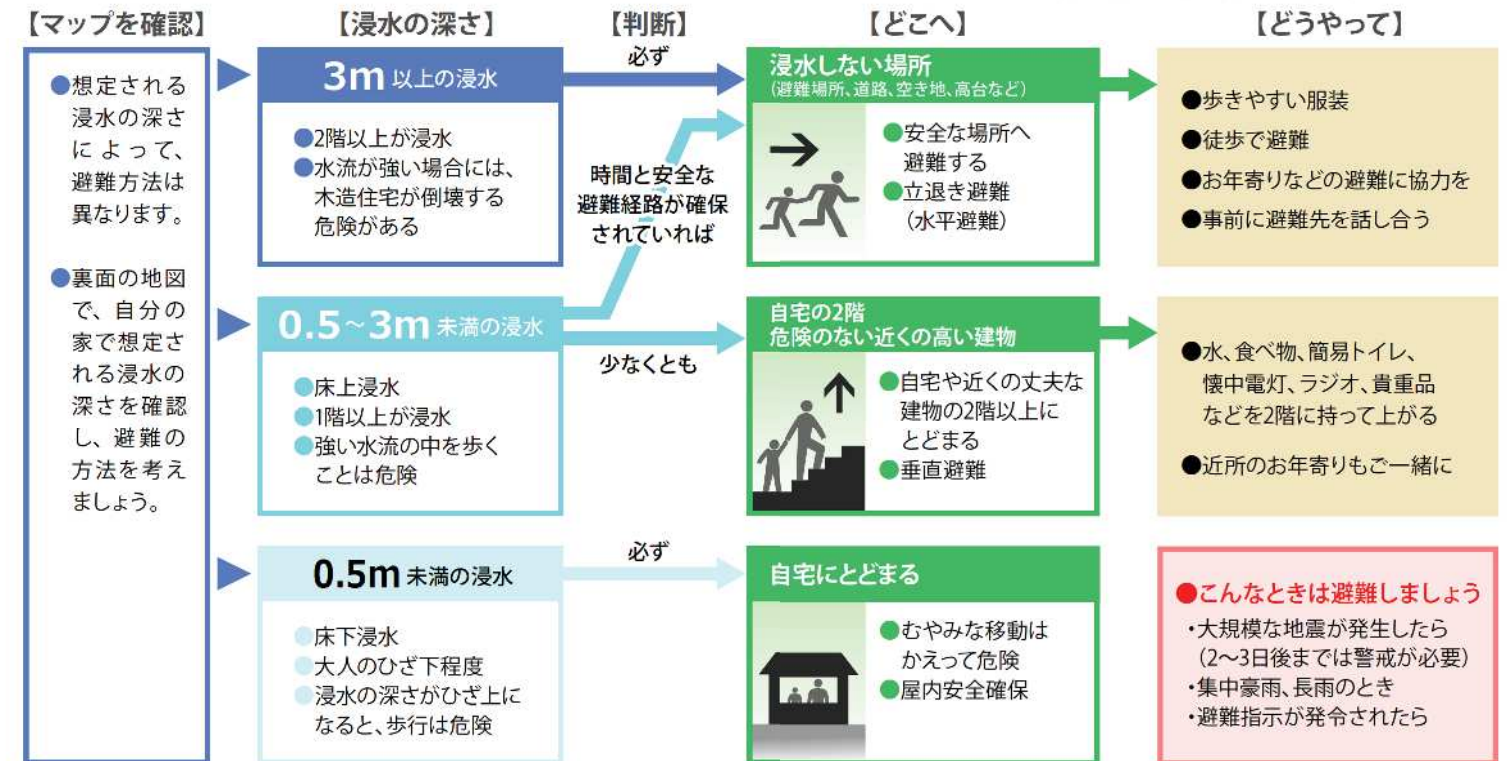
- 貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。

越流破壊

- 豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流化することによって、破壊する場合があります。
- また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ



「警戒レベル4」で全員が安全な場所に避難しましょう

避難情報が発生された場合には、さまざまな手段で住民のみなさんに伝達します。但し、土砂災害や洪水など、他の災害では危険性の高まりに応じて、避難情報を発令しますので、避難開始の参考としてください。



高	警戒レベル 5	既に 災害が発生または切迫 している状況です。 命の危険、直ちに安全確保 を。
危険度	警戒レベル 4 全員が速やかに避難	危険な場所から避難先へ避難を完了してください。 緊急避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
	警戒レベル 3 高齢者など避難	避難に時間を要する人（ご高齢の方、身体の不自由な方、乳幼児等）とその支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
	警戒レベル 2	ハザードマップで避難行動を確認しましょう。
低	警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※危険と感じたら、これらの発表を待たずに自主避難をしてください。
※逃げ遅れによる被災が多くなっています。